

コード	205031404
記入日:	H22.10.6

課コード	121
課名	消防本部
課長名	下山 勲
担当者	窄口雅昭

## 事務事業事前評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	消防通信指令システム中間整備事業	事業種類	単年度事業
		事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 23 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	9
施策コード	205	施策名称	安全を実現できる体制づくり	項コード	1
基本事業コード	20503	基本事業名称	消防団組織と消防施設の充実	目コード	1
事務事業コード	2050314	事務事業名称	施設維持管理事業費	細目コード	931
関連計画			法令・条例規則等		

計画(PLAN)	
対象:誰、何を対象にしているのか	対象指標:対象の大きさを表す指標
(対象1) 町民 (対象2)	(対象指標1) 23,138人 (対象指標2)
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標:事務事業の活動量を表す指標
消防通信指令システム中間整備業務委託 専門的な技術を持つメーカーにより老朽化した部品の交換や改造を行う。	(活動指標名称) (活動指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
	① 指令システムの整備 1式 現システムのメンテナンス 平成23年度
	②
	③
目的:何をしたいのか	成果指標:目的の達成度を表す指標
経年劣化の進む現システムをオーバーホールすることにより、災害発生時における119番通報の受理、さらに出動に係る指令・情報伝達により地域住民の安心・安全を確保する。	(成果指標名称) (成果指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
	① 指令システム進捗率 100% 事業費 平成23年度
	②
	③

実施(DO)		単位	全体計画 H 23 ~ H 23	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度以降
活動指標	式	1			1					
成果指標	%	100			100					
総事業費C (A+B)		千円	38,185		38,185					
直接事業費 A		千円	37,485		37,485					
人件費 B		千円	700		700					
内訳	従事職員数	人	0.1		0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円	35,600		35,600					
	その他	千円								
一般財源		千円	2,585		2,585					

評価(CHECK)

評価項目		内 容
1次評価	事業の緊急性・必要性	24時間体制で稼働している現システムに老朽化の兆候があり、障害によりダウンすると消防活動の体制が取れなくなる。
	類似事業との関連	単一事業である。
	費用対効果	老朽化の進む現システムをオーバーホールすることにより長期使用を確立し、管内で発生する緊急時の通報に対応することにより町民の安心・安全を確保する。

2次評価	資料の見積内容から機材導入(PC台数・プリンター台数)、または導入支援の関連経費については検討が必要。また他社の見積徴収も行ってみる。
------	---

住民等の意見	
町の対応	

事業採択結果	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		計画どおりに事業を実施する				次年度以降に計画どおり実施する
				事業内容を見直して事業を実施する				次年度以降に計画を見直して実施する
				事業費を増額して事業を実施する				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する
				事業費を減額して事業を実施する				当分の間は実施しない
				類似事業と整理統合して実施する				

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。